

# 一般質問

「ここが聞きたい これを言いたい」

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



## 9議員が登壇

# 町政を問う

質問者、答弁者それぞれ30分以内の制限時間。  
議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。

## 一般質問事項

質問者	件名	頁
酒向 弘康	1 「AED」屋外設置をすすめよ 2 行方不明者対応は緊急課題だ	5
中根 久治	1 ネット環境の充実で町に魅力を 2 KIA 事務所とトイレの整備を	6
水野千代子	1 オリジナル婚姻届の作成を 2 移動式赤ちゃんの駅の導入を 3 「感震プレーカー」設置に助成を	7
志賀 恒男	1 新たな指定文化財の登録案件は 2 教育の基本理念・方針の策定を	8
丸山千代子	1 町独自の少人数学級の実施を 2 サッカーのできる専用コートを	9
足立 初雄	1 愛は幸田町を幸せな町にするか 2 産婦人科誘致の取り組みを	10
大嶽 弘	1 島原市との姉妹都市提携は 2 町づくり提案制度の創設は	11
鈴木 重一	1 地区防災訓練への支援は 2 平成 28 年度の緑化計画は	12
伊藤 宗次	1 広田川萱堂地内の堤防拡幅整備を 2 手上げても無視された要支援者	13

※質問の内容は2件までを掲載しています。



酒向 弘康 議員

# 問 「AED」屋外設置をすすめよ

## 答 公の施設やコンビニ設置は検討



高力区防災訓練での救命講習

1秒でも早くAEDが使える環境整備は、行政の役割だ。町民の「救える命を救う」施策を問う。

**問** 公共施設と民間の設置の状況は。

**答** **消防長** 公共施設34施設42台、事業所25施設33台を把握。

**問** 設置補助制度の創設の考えは。

**答** 今後の研究、検討課題。交番や駐在所に設置がすすむよう近隣と協力して県に要望すべきだ。

**答** 関係各課と協議し、設置要望、方法など検討し、要望していく。

**問** 24時間いつでも誰でも使用ができるよう屋外設置化をすすめるべきだ。他市町の対策など研究

し、所管課と検討。

**問** 公共施設の自動販売機をAED内蔵のものに切り替えていく考えは。

**答** 屋内設置、または月間の売上本数400本以上の条件にあう場所があれば設置を依頼したい。

**問** 県内全体に拡大しているコンビニ店などにAEDを設置していく考えは。

**答** **町長** 公の施設には設置する考えで、コンビニには使い方も検討しながら前向きにすすめたい。

**問** 行方不明者対応は緊急課題だ

**答** 見守りネットワークを構築する

**問** 町内行方不明の事案発生が急務だ。

**答** 防災無線で「行方不明者」の放送が多くなっている。早期に発見し、保護できるよう連携システムの構築が急務だ。

生数と推移は。

**答** **総務部長** 平成27年は5件発生している。県内でも増加傾向にある。

**問** 学校の生徒が通学途中、事件に巻き込まれないよう、学校や地域での対応は。

**答** **教育部長** 緊急共有化広域ネットワークにて、各学校や関係機関に連絡し、保護者や見守りボランティアア団体に協力を依頼している。

**問** 本町の徘徊高齢者探索支援事業の「受信端末機貸与」の内容、利用状況と今後の周知の方法は。

**答** **健康福祉部長** 介護する方に貸与し、徘徊する高齢者などに携帯させ位置情報を入力し探索する。利用者は1件。周知は広報などで。

**問** 認知症サポーター養成事業や官民一体で「声掛け」の組織づくりなど、今後の「見守り施策」の取り組みは緊急課題だ。

**答** 地域・関係機関への協力を求め、新たな見守りネットワークの構築を図る。

# 問 ネット環境の充実で町に魅力を

## 答 研究したい



中根 久治 議員

魅力ある町を実現する手段としてインターネットの利用環境の整備がある。町のホームページ作りを問う。

**問** ひらがな表示、外国語表示などの機能の充実はどうか。

**答** 企画部長 誰でも利用できるようにホームページの改善に努める。

**問** 親しみやすいホームページとして、一般参加型のページを設けることはどうか。

**答** シャンル分け、選定方法、目的など検討課題。

**問** ホームページのデータの質と量の充実をすすめるべきだがどうか。

**答** ホームページの充実とあわせて、データのデジタル化に努める。

**問** 図書館蔵書のデジタル化は。

**答** 教育部長 近隣市町の状況も見ながら検討する。



町立図書館でインターネットの利用

**問** 町立図書館だけでなく学校や公民館の蔵書情報の共有化は。

**答** 町立図書館とつなげてということまでには、まだ至っていない。

**問** 公共施設のWiFi環境の整備で町に魅力を。

**答** 愛知無料公衆無線LAN推進協議会から情報提供を受け、研究したい。

**問** KIA事務所とトイレの整備を

**答** 前向きに検討する

もう一度訪ねてみたい町にするには情報の信頼性が重要だ。その信頼性を問う。

**問** 「文化財ウォーキングマップ」の未修正箇所はどうする。

**答** 教育部長 どう改めたいか、さらに検討していく。

**問** 文化財説明板の設置数と内容の確認と修正は。

**答** 35基の公設と9基の私設看板。訂正できるものがあるため対応できるもの

は検討する。

**問** 三ヶ根駅前観光案内所の充実。

**答** 環境経済部長 職員配置までは考えていない。三ヶ根駅前の西尾市設置観光看板を含めて、駅前の整備は。

**答** 具体化した段階で、地域と相談・検討する。

**問** 外国人へのゲストハウスとしてのKIA事務所とトイレの整備を。

**答** 企画部長 要望などは出していないが、トイレは前向きに検討する。

**問** KIAその他の団体の国際交流での連携は。

**答** アンケートなどをもとに話し合いをすすめる。



水野 千代子 議員

# 問 オリジナル婚姻届の作成を

## 答 愛知県のご当地婚姻届を利用で

戸籍法で婚姻届用紙はA3サイズ、名前や住所、本籍地、保証人など書き込む様式は規定があるが、色やデザインは自由である。居住地や本籍地に限らず、全国どここの市区町村でも提出できることから以下を問う。

**問** 年間の婚姻届数は。  
**答** (住民こども部長) 平成24年が435件、25年が448件、26年が411件、27年は11月まで385件。月平均は35から36件。

**問** 郷土愛を深め未永く町内に住んでほしいとの願いを込め、オリジナル婚姻届の作成を。  
**答** オリジナルものは、県下に導入例がない状況。今後、近隣の市町の動向を見て検討したい。

当面、愛知県の「まちキコン」ご当地婚姻届」を、町のホームページにわかりやすくリンクして対応。  
**問** 婚姻届の時に記念となるよう写真撮影のできる特設ブースやメモリアルボードで新しい門出の祝福を。  
**答** 届け出時、記念撮影の

要望には、お祝いの気持ちを持って対応に努めている。メモリアルボードは検討していきたい。

**問** 移動式赤ちゃんの駅の導入を

**答** 導入を検討していきたい

**問** 乳幼児連れの保護者が安心して外出できるように、おむつ交換のベビーベッドやパーテーションなどで仕切られた部屋で人目を気にせず授乳できる場所として「赤ちゃんの駅」を公共施設や商店街などに設置を。  
**答** (健康福祉部長) 町内の公共施設で、授乳室があるのは子育て支援センターと図書館の2カ所。役場や保健センターは、空き室を利用。

民間では、スーパーや



豊川市の移動式赤ちゃんの駅

子ども洋品店にある。

「赤ちゃんの駅」は、現段階で、看板をかけて固定的に設置することが難しい状況にある。  
**問** 年間の出生数は。  
**答** 平成24年が454人、25年は459人、26年は425人。

**問** 町民大運動会や新春駅

伝などの屋外イベントでは、おむつ交換や授乳の場所がない。貸出しができるテント「移動式赤ちゃんの駅」の導入を。  
**答** イベント主催者に対して、対応を要請していく必要があると考えている。導入を検討していきたい。



志賀 恒男 議員



芦谷の陣屋跡（内藤家）

# 問 新たな指定文化財の登録案件は

## 答 芦谷の陣屋跡など数件

**問** 平成28年度から始まる第6次幸田町総合計画がまとまった。内容は分かりやすいが、中・長期計画がない項目がある。

**答** 企画部長 コミュニティホームの維持修繕を予定。補助制度の見直しを検討する。

**問** 多文化共生の推進の具体的な中身は。

**答** 外国籍町民会議、まちを知るツアー、国際交流協会K-1Aでは、日本語サロンなど開催している。

**問** 商業の振興のための中・長期計画の策定を。

**答** 環境経済部長 独自の策定はせず、創業支援事業計画、経営発達支援計画で取り組む。

**問** 観光の振興のための中・長期計画の策定を。

**答** あいち観光戦略（仮称）を参考とする。

**問** 観光の振興には、指定文化財の発掘が重要。登録検討中の案件は。

**答** 教育部長 芦谷の陣屋跡を始め数件ある。所有者の意向確認し、調整・準備する。

**問** 資料館など文化財保護のための中・長期計画の策定を。

**答** 教育長 基本構想を視野に新たな文化財、法令など情報収集に努める。

**問** 文部科学省は、全国学力テストの結果を公表した。

**答** 全国平均、県平均と比較し、幸田町の結果は。

**問** 全国平均、県平均と比較し、幸田町の結果は。

**答** 教育部長 小学生は、算数で平均を上回り、国語、理科は下回った。中学生は、国語、数学、理科とも上回った。

**問** 学力テストの結果を受け、教育委員会の検証改善サイクルの実施は。

**答** 学力学習状況充実プランを活用する。保護者には内容を通知する。

**問** 町内の学校間で、成績の格差はあったか。

**答** 格差があるとは、とらえていない。

**問** 町内の児童・生徒の学習習慣や生活習慣の調査結果と対応は。

**答** 全国と比較すると割合が高いのは、学校の決まりを守る、家で宿題をする、保護者の授業参観・運動会参加など。個人の勉強時間数は、低い結果となった。

**問** 結果と改善事項は各校へ周知。

**答** 教育長 全国学力テストでトップクラスの秋田県由利本荘市は、教育の基本理念、基本方針を制定している。町教育委員会も策定を。

**問** 学校教育展開の指針を毎年各校に配布。他県の事例は勉強していく。

**答** 教育部長 学校教育展開の指針を毎年各校に配布。他県の事例は勉強していく。



丸山 千代子 議員

# 町独自の少人数学級の実施を

## 答 嘱託での対応を優先したい

国の「教職員定数改善計画」は、今年度で小学校全学年の35人学級が実現できたが、計画が凍結している。貧困と格差の広がりなど、さまざまな要因で手厚い対応の子どもが増えている中、どの子にも行き届いた教育をすすめるため、町独自の少人数学級の実施を問う。

**問** 小中学校の全クラス数と35人以上のクラス数。

**答** 教育部長 通常クラス124、特別支援クラス23、合わせて147クラス中24である。

**問** 全学年で35人学級を実施するための教員数と必要額は。

**答** 8人の学級担任が必要。年齢が30歳程度で約2500万円から3000万円となる。

**問** 県内市町村の実施状況。

**答** 豊田市は、小学3年生、中学2・3年生で35人。知立市は、小学3・4・5年生で35人編成である。

**問** 段階的に取り組み、町独自で実施を。

**答** 様々なニーズに応えるため、嘱託での対応を優先したい。

**問** 愛知県は低水準。実施を求めよ。

**問** サッカーのできる専用コート

**答** 柳川遊水地を専用状態で使用

いつでも、どこでも、だけれども、日常的にスポーツをするための施設整備の要望は高い。特に子どもものスポーツは盛んであり、地域のスポーツ施設の整備づくりを問う。

**問** 子どものスポーツ活動の団体の数と参加人数は。

**答** 教育部長 少年少女スポーツ教室は、11種目で延べ469人。体育協会加盟5団体234人。その他15団体がある。

**問** 不足する施設の実態は。

**答** 全部で11施設あるが、希望日が重複しているの



サッカー用地の整備を期待 (坂崎地内柳川遊水地)

が現状。

**問** サッカーのできる専用コート

**答** 柳川遊水地を専用可能な状態で無料で使用している。改善は検討する。

**問** 中央公園は多目的にスポーツができるが、炎天下や突然の雨などでひさしの要望がある。観覧席の整備を。

**答** 建設部長 利用者の声を参考に必要性含め十分に検討して前向きにすすめていく。

**問** スポーツ振興のため基盤整備を計画的にすすめる考えは。

**答** 現段階で計画を持つことは考えていない。



足立 初雄 議員



愛を発信する庁舎

# 問 愛は幸田町を幸せな町にするか

## 答 愛のあるまちづくりをすすめる

**問** 町長は、昨年の9月議会  
で「幸せな町、幸田町」と  
は「愛があり、歴史、伝統  
文化、自然環境のある町」  
と答弁したが、2期目の政  
策に愛を込めることができ  
るかを問う。

**答** 進では、愛を感じる親交  
ができるか。  
**企画部長** 歴史や文化  
を共有し、人と人が触れ  
合うために直接訪問し親  
交を深め信頼関係を築く。  
**問** 「子どもが元気な町」  
政策の児童館の建設で高  
齢者と愛のある関係が築

けるか。  
**答** **住民こども部長** 児童  
館の行事・イベントなど  
の企画・運営で、地域の  
子どもたちと高齢者が交  
流する場づくりで創意工  
夫。  
**問** 「行政改革と住民サー  
ビスの向上」政策の町立  
体育館建設に愛は。

**問** 産婦人科誘致の  
取り組みを  
**答** あらゆる手をかけ  
要望していく

画の取り組みは。  
**答** 重点目標は、欠食をせ  
ず、積極的に体を動かし  
年1回健診を受診。  
**問** 町民の野菜摂取量は。  
**答** 平均219g。  
**問** 厚生労働省の基準は  
350gであるが、摂取  
量アップの具体策は。  
**答** 健康福祉まつりで野菜  
摂取啓発イベントを取り  
組んだ。

**問** 「子どもが元気な町」  
政策の児童館の建設で高  
齢者と愛のある関係が築  
けるか。  
**答** **教育部長** 具体的進展  
はないが、広く町民に愛  
される施設実現に努力。  
**問** 職員心の教育・研修  
を。

町長の2期目の政策の一  
つである「健康で暮らす  
町」の実現策を問う。  
**問** 健康の定義は。  
**答** **健康福祉部長** 肉体的  
精神的、社会的に全てが  
満たされた状態にある。

**問** 人間ドックの自己負担  
額7000円は安い、  
その効果は。  
**答** 受診者が増加。  
**問** 新たな健康増進策は。  
**答** 健康マイレージ事業の  
実施に向け具体化をすす  
めている。

**問** 愛は幸田町を幸せな町  
にするか。  
**答** **企画部長** 来庁者への  
接遇、おもてなしの精神  
の向上のため研修をさら  
に充実する。

**問** 社会的健康とは。  
**答** 社会という集団の中で  
建設的により関係を築く。  
**問** 町民の健康度の評価は。  
**答** 特定健診の受診率が高  
く、介護認定者が少ない。

**問** 産婦人科誘致の取り組  
みを。  
**答** **町長** 何としても産科  
の開業に向け、あらゆる  
手をかけて要望していく。

**問** 愛の根底には、  
人が生まれて死ぬまでを  
幸せに過ごすことである。  
町民の幸せのため愛のあ  
るまちづくりをすすめる。

**問** 愛の根底には、  
人が生まれて死ぬまでを  
幸せに過ごすことである。  
町民の幸せのため愛のあ  
るまちづくりをすすめる。



大嶽 弘 議員

# 問 島原市との姉妹都市提携は

## 答 持続可能な交流体制を構築する



島原市との友好親善交流会（つばきホール）

平成27年10月31日、「島原市と幸田町の友好親善交流会」が開催された。今後の計画を問う。

それぞれの存在を意識するきっかけとなった。今後の交流計画は、友好親善訪問の旅を実施し、町民と各種団体事業者を巻き込んだ交流の促進を図りたい。

コミュニティ事業の見直し、新たな事業提案制度の創設などを問う。

**問** 町づくり提案制度の創設は

**答** 先進的な自治体を参考に検討

**問** 「友好親善訪問の旅」の計画内容の公表は。  
**答** 決まった段階で、議会町民などに示し、すすめる。  
**問** 姉妹都市提携の考え方は。  
**答** 交流の意義を町民や議会、行政が共有し、持続可能な交流体制を構築する。  
**問** 提携に関する町民意思の収集は。  
**答** 交流事業に参加した個人や団体から多くの意見やアイデアを参考にすすめる。

**問** 風揚げまつりに向け風づくりをしている人への当局の思いは。  
**答** 教育部長 多くの町民の協力を得て、実施できているものと感謝している。  
**問** 毎年のコミュニティ事業の見直しは。  
**答** 総務部長 住民目線で、個々に改善できることは対応している。  
**問** コミュニティ事業の補助金算定方法は。  
**答** 補助対象事業費の5分の4。または、均等割額18万円+世帯割額160円×学区世帯数+補助対象事業費の3分の1で得た額のいずれか少ない額以内。  
**問** 若い世代、転入者などが増加している。新たな自主的提案と補助金制度創設の考えは。  
**答** 先進的な自治体の状況を見て、使いやすく地区の独自のアイデアで活用できるような補助制度を検討していきたい。



鈴木重一 議員



子どもも参加した地区防災訓練（横落区）

# 問 地区防災訓練への支援は

## 答 助言と防災グッズ・非常食提供

災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」を活動目的に結成された、自主防災会の現状と支援策を問う。

**問** 自主防災会組織の編成状況は。

**答** **消防長** 23行政区、23組織で、人数は4月1日現在1万8000人。

**問** 防災訓練で不慮の事故が発生した場合の補償は。

**答** 防火防災訓練災害補償等共済制度に加入している。

**問** 防災訓練に対する支援内容は。

**答** **総務部長** 訓練メニューや訓練方法などの助言をし、啓発用防災グッズや非常食を試食用に提供。

**問** 防災器材などの購入で平成27年度補助金実績は。

**答** **消防長** 年度途中であるが、申請のあった14区に185万7000円。

**問** 組織のレベルアップを図る対策として、協議会を設置する考えは。

**答** **総務部長** 防災リーダー育成に重点をおき、防災レベル底上げをした上での組織化が望ましく、他の自治体協議会組織を研究し新たな取り組みを検討。

**問** 平成28年度の緑化計画は

**答** 六栗区画整理区域内公園に植栽

まちの緑は人々に潤いと安らぎを与えてくれ、身近で貴重な自然があり、美しいまちづくりに重要な役割を果たしてくれている。町の緑化推進を問う。

**問** 県の「あいち森と緑づくり事業」の7年間の実施件数と交付金額は。

**答** **建設部長** 平成21から27年度の間に、41件、約1億6000万円。

**問** 県民参加緑づくり事業の内容は。

**答** 中央公園や不動ヶ池園地、つばきの小径、相見駅周辺、岩堀区画整理区域内などを実施し、参加者は小中学校、幸田高校、地域住民や企業で延べ2888人。

**問** 平成28年度に計画する事業は。

**答** 六栗の区画整理区域内の公園緑地への植栽。

**問** 合併60周年事業「フラワーステーション3駅に花を植えましょう」は、継続性を考えてのことか。

**答** 継続計画はない。新たな取り組みをきっかけに、地域と共に駅の美化意識を高めていきたい。

**問** ボランティア団体が「緑の募金」を活用可能か。

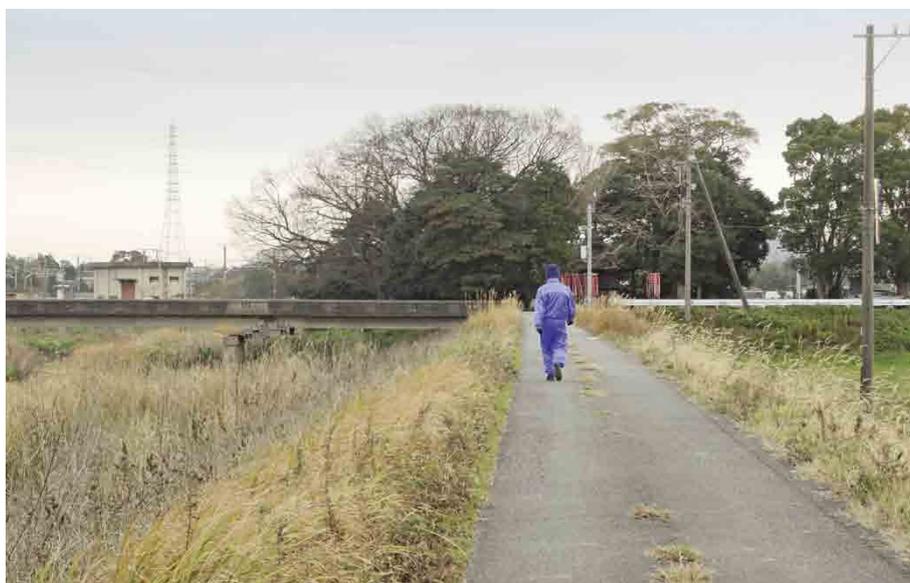
**答** **環境経済部長** ボランティア団体でも、公共施設の緑化を目的とするものなら利用可能。



伊藤 宗次 議員

# 問 広田川萱堂地内の堤防拡幅整備を

## 答 残土との関連性を踏まえ検討



広田川観音橋付近（岩堀地内）

**問** 広田川右岸萱堂地内の企業から観音橋まで約350mの堤防拡幅は地権者などの約束事だ。

**答（建設部長）** 下流部分までの拡幅補強の約束は承知してない。

**問** 圃場整備で2.5m以上の用地協力がある。

**答** 残土が出たときは検討

**問** 道の駅用地造成工事残土で県土木の暗黙の了解で拡幅整備している。

**答** 公共残土の処分先として、合理的な発想。

**問** 行政の勝手な都合で災害発生の危険箇所見ずでいいの。

**答** 補強しなくてはいけない

**問** 人と、理解している。人柱が建たないと動かすの行政でいいの。

**答** 公共残土を敏感にとらえ、時期を逃さず取り組んでいく。

**問** 道路幅員2.5mの未整備道を用地協力のある幅員まで拡幅整備し、補強計画の具体化を急ぐべきだ。

**答** 残土の出るところの関連性を踏まえて検討。

**問** 手上げても無視された要支援者

**答** 安否確認の訓練のみで誤解

**問** 今年度の地域防災訓練の成果と教訓は。

**答（総務部長）** 16区で実施体験することが重要。未実施の地区に実施を呼びかける。

**問** 要支援者の訓練参加の状況は。

**答** 要支援者の参加もあるが、詳細は未確認。

**問** 要支援者の訓練参加でどこに問題があるのか。

**答** 災害時要支援者登録がすすんでいない。

**問** 昨年度の訓練で要支援者は、自宅前に目印などの掲示を求められ掲示しただが無視された。

**答** 今年度も掲示したが黙殺された。なぜか。

**問** 安否確認の訓練のみで誤解を与えた。

**答** 災害発生時、行政は頼れない。行政区や隣組の支援が重要だが、機能しているか。

**問** 地元と相談し、ルールづくりをおこなう。

**答** 目的意識的に要支援者支援のマニュアルを。地元と協力し、一歩ずつすすめる。

**問** 外面（ところら）だけの防災訓練でなく、実効性のある防災訓練を。

**答** 実践に近い防災訓練に向ける。